

# 第78回カレッジ川柳会月報

## 第七十八回カレッジ川柳会月報(五月例会記録)

日時 … 令和六年五月二十二日(水) 午後一時半〜五時

場所 … ウェーブ一〇一(サロン5)

講師 … 佐藤 公江(千葉県川柳作家連盟理事)

出席者 … (順不同・敬称略) 大西 旅人、清田 アキラ、

谷口 勝、中葉 放太、中間 孝、永井 三楽、

松谷 のん紀、両角 節児、山岸 順、黒崎 与三坊

### 課題「ごまかす」互選

佐藤 公江 講評

1点 裏金をセコいと言えぬ小市民

放 大

学歴の詐称くすぶる都知事選

三 楽

税務署の調査と言われあたふたと

孝 大

25億心配しても人の金

放 大

いつからか力と正義いれかわり

旅 人

政治家の巧みな言葉透けて見え

節 児

英世送れなどと暗号めく指図

旅 人

2点 口パクで合唱済ます我が校歌

与三坊

政治家の言葉遊びの受け答え

勝 大

泣き上戸辛子のせいと食うおでん

勝 大

聴こえぬが聴こえたふりしそうですね

放 大

オレオレにオレはオレだと煙に巻く

アキラ

3点 聴こえても聴こえぬふりし知らん顔

放 大

半生をぬらりくらりと生きてきた

与三坊

おいしいお茶なあーにと返し濁される

アキラ

青年よ寝たふりよそう優先席

三 楽

4点 断わられてもそうとは見えぬ京ことば

順

レトルトを我が家の味と自慢する

勝

値上げせぬ食品買うと量が減り

与三坊

別居中とは思わないペアルック

順

5点 豪華さ以上に底買った土産品

のん紀

よく知らぬカテナ語言いけむに巻く

与三坊

旅気分孫も満足山手線

のん紀

課題「ごまかす」

\*

佐藤 公江 選

〔客〕旅気分孫も満足山手線

のん紀

よく知らぬカテナ語言いけむに巻く

与三坊

手品師は客を騙して誉められる

三 楽

聴こえぬが聴こえたふりしそうですね

放 大

豪華さ以上に底買った土産品

のん紀

〔人〕値上げせぬ食品買うと量が減り

与三坊

〔地〕泣き上戸辛子のせいと食うおでん

勝

〔天〕キセルして薩摩守の見得を切る

三 楽

\*

例「講師の句」 課題「ごまかす」

蛾が蝶に化けるネオンの罪作り

公 江

化粧する騙されるのか騙すのか

公 江

騙されておこう小さな嘘だから

公 江

# 第78回カレッジ川柳会月報

## 課題「効果」二人選 永井三楽 選

〔秀〕いい歳をしてと言われて鏡見る

閑古鳥鳴き招き猫欠伸する

ブランドを身につけ蝶を呼び寄せる

健康に成りたいはずが薬漬け

カーナビで着いたところは裏の堀

使用前使用後比べほんまかい

自己紹介趣味川柳で親しまれ

叶わずも夢に向かった意気残る

〔客〕半額のシールを貼ればすぐ売れる

補聴器と老眼鏡で意思疎通

若作り孫の服着て二度見され

なで牛の頭あたりをなでてみる

アイジヨウと叫び料理にふりかける

〔人〕肩揉めば一輪ほどの夫婦仲

〔地〕プチ家出夫あたふたさせる妻

〔天〕美味しいと食べる前から母は言い

\*

## 〔自句〕 課題「効果」

タイパ捨て思いを綴る一行詩

侵攻のブレーキ効かぬイストラエル

赤ヘルに効き目半端な鯉のぼり

LED純白の藤艶めかせ

放 大

勝

順

孝

アキラ

放 大

与三坊

放 大

順

与三坊

与三坊

旅 人

旅 人

旅 人

放 大

のん紀

アキラ

アキラ

三 楽

三 楽

三 楽

三 楽

## 課題「効果」二人選 佐藤 公江 選

〔客〕半額に購買意欲さそわれる

裏金を使ってみたが選挙負け

蜜塗ったホームのチラシ食べに来る

補聴器と老眼鏡で意思疎通

叱つても反抗期には逆効果

〔人〕プチ家出夫あたふたさせる妻

〔地〕半額のシールを貼ればすぐ売れる

〔天〕自己紹介趣味川柳で親しまれ

例「講師の句」 課題「効果」

\*

ほめあげて上手い課長の人使い

正面に子連れ立たせる反対派

変人の独創が効く町工場

一票の期待がすぐに手を握る

のん紀

勝

順

与三坊

勝

勝

のん紀

順

順

与三坊

与三坊

与三坊

与三坊

公 江

公 江

公 江

公 江

公 江

# 第78回カレッジ川柳会月報

自由吟 佐藤 公江 選

〔秀〕我が家では部下と上司の下克上 放 大

足腰の老い知らされる高尾山 勝

期待した霧の摩周湖五月晴 のん紀

お神輿に茶髪長髪入り乱れ アキラ

閃きの海馬の力誉めてやる 三 楽

〔客〕ちよつとした毒あるヒトが頼もしい 与三坊

履歴書に体力結果つけて出す のん紀

小心の父を走らす母の激 順

ひたむきに歩み大樹の陰にいる 順

泥水も住めば都の蛙の子 アキラ

〔人〕豹柄をまとい内気を脱ぎ棄てる 順

〔地〕この星に八十億の孤独乗る 旅 人

〔天〕自立して老いても子には従わず のん紀

\*

〔四月自由吟・落穂拾い〕谷口 勝 担当(フリートーカーキング)

孫が来てじいちゃんになる三時間 旅 人

エレベーター押して動かぬ同じ階 放 大

子の反応テンション上がる読み聞かせ のん紀

風呂上りチャイムにあわて目出し帽 のん紀

円安が国際色の泡を立て 三 楽

~~~~~

**お知らせ** 次回令和六年六月例会予定

日時：六月二十六日(水) 午後一時～四時半

場所：美浜公民館・第一会議室

① 互選 課題「歯痒い」三句

② 二人選 課題「行事」三句 (節児選・公江選)

※互選句と二人選句は事務局あて投句願います。

**投句締切 六月二十二日(土) 必着**

③ 「自由吟」 三句 (佐藤公江選)

※例会当日、句箋で投句願います。

~~~~~